

# 第9回評議員会 平成29年事業計画を承認

第9回評議員会は、評議員会成立宣言、議長選出、議事録署名人の選出、理事長挨拶、一般報告(評議員の異動)、議案審議、意見交換等の順に進行。

理事長挨拶では佐藤理事長が、小池都政での入札・契約制度の動向をはじめ、米トラ

ンプ政権の日本経済への影響、人手不足や人件費高騰などによるビルメン業界の厳しい経営状況などに言及した

あと、「こうした時だからこそ、『品質重視』と『適正価格』の入札制度、パート労働者への社会保険適用の拡大阻

止など、業界要望を高く掲げて、活動を強化してまいりたい」と述べ、支援と協力を要請した。

審議事項は、平成28年の「事業報告」と「収支決算報告」の承認、平成29年の「運動方針・事業計画案」と「収支予算案」の承認の4つ。

平成28年事業報告は横田英雄幹事長が行い、「東京都所

有の建築物の維持管理に関する要望活動」では、都議会自由民主党・公明党・民進党に

対する要望活動や、都議会自由民主党ビルメンテナン

ス議員連盟(現都議会自民党ビルメン政策研究会)との意見交換会

を報告。

また、「関係諸法令等の改正に関する運動」では、自由

民主党東京都連などに、「ビルメンテナン

ス業務発注に関するガイドラインの徹底」「市場化テスト」や、その他の制度改正について要望活動を行ったことを報告。

このほか、「ビルメンテナン

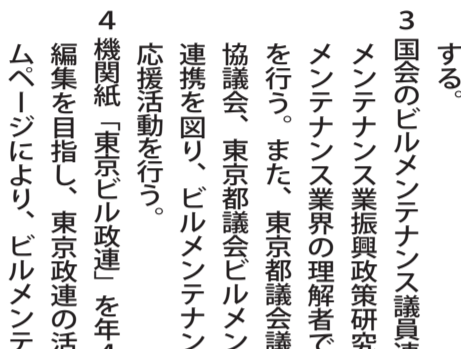
ス業界の理解者である議員・候補者の応援」では第24

回参議院議員選挙および平成28年度東京都知事選挙での推薦・支援、「広報活動」については機関紙の発行、ホームページの更新による情報発信などを報告した。

議長をつとめた島岡秀文氏



事業報告を行う横田幹事長



平成28年収支決算は高安敏夫会計責任者が報告を行い、大村清保監事が「財政状況は健全」「不正の行為および法令等に違反する事実はなく、適正に運営している」との監査報告を行ったあと、一括採決に移り、事業報告・収支決算報告ともに全会一致で承認された。

## 平成29年運動方針・事業計画

平成29年の運動方針・事業計画案と収支予算案については、横田幹事長と高安会計責任者が提案を行い、提案通り全会一致で承認された。

意見交換等では、鷺見博史事務局長が参考資料として配布した「厚生労働省から各都道府県協会への通知」

「東京都財務局契約二課長等意見交換会議事録」「平成29年度総合評価入札案件一覧」「東京都議会自由民主党ビルメンテナン

ス業振興政策研究会名簿」などについて説明を行い、すべての議事が終了した。

1 ビルメンテナン

スに係る関係諸法令及び税制改正等について、ビルメンテナン

スの発展を促進させるため、ビルメンテナン

スの利益に資するよう適切な運動を行う。

2 東京都議会自由民主党ビルメンテナン

ス業振興政策研究会及び東京都地域選出の国会議員との連携を密にし、東京都及び国に対する要望活動を行う。

3 東京都各種団体協議会・全国ビルメンテナン

ス政治連盟等との情報交換を行い、共通の課題については、連携して運動を進める。

4 東京都各都道府県ビルメンテナン

ス業振興政策研究会と協同し、東京都所有の建築物の維持管理について、都が必要措置を講じるよう、粘り強い対応を図る。

## 東京都議会自民党入札・契約制度改革PT意見交換会実施報告

平成29年4月4日 午前10時～午前11時

開催日時 平成29年4月4日

開催場所 都議会自民党2階第2会議室

出席者 都議会自民党：高島直樹議員(座長)、宇田川聡史議員

高木啓議員、秋田一郎議員、鈴木晶雅議員、来代勝彦議員、鈴木章浩議員

山崎一輝議員、小宮安里議員、川松真一朗議員

東京都財務局：五十嵐契約調整担当部長、吉川経理部契約調整担当課長、他6名

名 東京都総務局：池上都政改革担当部長、他2名

東京都ビルメンテナン

ス政治連盟 盟：佐藤理事長、鈴木副理事長、榎本副理事長

横田幹事長、鷺見事務局長

長 長他4名

(公社) 東京ビルメンテナン

ス協会：石井事務局長

森職員

東京都印刷産業政治連盟：会長他4名

(一社) 東京都建築士事務所協会：副会長他4名

冒頭、高島議員から、参加の謝辞と挨拶があった。発言の趣旨は、3月31日に開催された都政改革本部において、

工事契約を中心とした入札契約制度改革の実施方針が示されたため、委託・請負に関する契約制度への波及等について、財務局と総務局を交え、

関連団体との意見交換会を開催することとなったとのことであった。次いで、吉川担当課長から今回の、工事案件に関する入札契約制度改革の実施方針について説明があり、意見交換へと移行した。

意見交換では、横田幹事長から下記の2点について質問を行った。

1. 都政改革本部で決定した内容については、議会を

通さずに決定できるのか。

2. 第2回都議会定例会では、

今回の件について議題に挙がるのか。

1. に関しては池上部長から、特別顧問が方針案を知事に進言し、知事が決定しており、議会の同意は必要ないとの回答があった。2. に関しては、高木議員から、第2回定例会は選挙直前で1週間しか会期がないことから、選挙後に本格的に始動するであろう、と回答をいただいた。

続いて、他団体からの発言の後、横田幹事長から総合評価制度の維持に関する要望が延べられ、鷺見事務局長から委託契約についての今後の方向性について質問したところ、吉川担当課長から現状は委託案件の契約は改革の予定はないと回答があった。

最後に、宇田川議員から挨拶があり、意見交換会は閉会となった。



## 平成29年収支予算 (平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

項目	金額	備考
I 収入の総額	26,435,984	
1 前年からの繰越額	11,849,984	
2 本年の収入額	14,586,000	
(1)機関紙発行	14,536,000	機関紙購読料 月額 2,500 円、機関紙広告掲載料
その他の事業収入	50,000	受取利息外
(2)その他の収入		
II 支出の総額	18,673,000	
1 経常経費の合計	2,555,000	
(1)人件費	1,789,000	協会への事務委託費用
(2)備品・消耗品等	312,000	(月額税込 149,040 円×12 か月)
(3)事務所費等	454,000	事務用品・パソコン使用料等協会への分担費用
		(月額税込 25,920 円×12 か月)
		賃借料・電話使用料等協会への分担費用
		(月額税込 37,800 円×12 か月)
2 政治活動費の合計	15,878,000	
(1)組織活動費	8,344,000	全政連機関紙購読料月額 1 社 800 円、
(2)選挙関係費	5,000,000	理事会・評議員会開催費、新年賀詞交歓会開
(3)広報活動費	2,534,000	催費、パーティー券購入等
		選挙対策費
		機関紙発行費・ホームページ制作費
3 その他の支出	240,000	平成 28 年会計賦課消費税
翌年への繰越額	7,762,984	